

## 第6章 基本計画（概略プラン）策定

基本方針（案）および「第5章 事業手法検討」の結果を踏まえ、導入機能、施設規模、配置計画を含む概略プランを策定した。なお、本事業においては、Park-PFI 事業者として選定された事業者により作成される配置計画に基づき整備が進められるが、本項では、次年度以降における公募条件整理のための基礎資料なることを想定し、事業範囲内の基本計画（概略プラン）をとりまとめた。

### 第1節 導入機能の検討

#### 1 公園全域における機能配置の整理

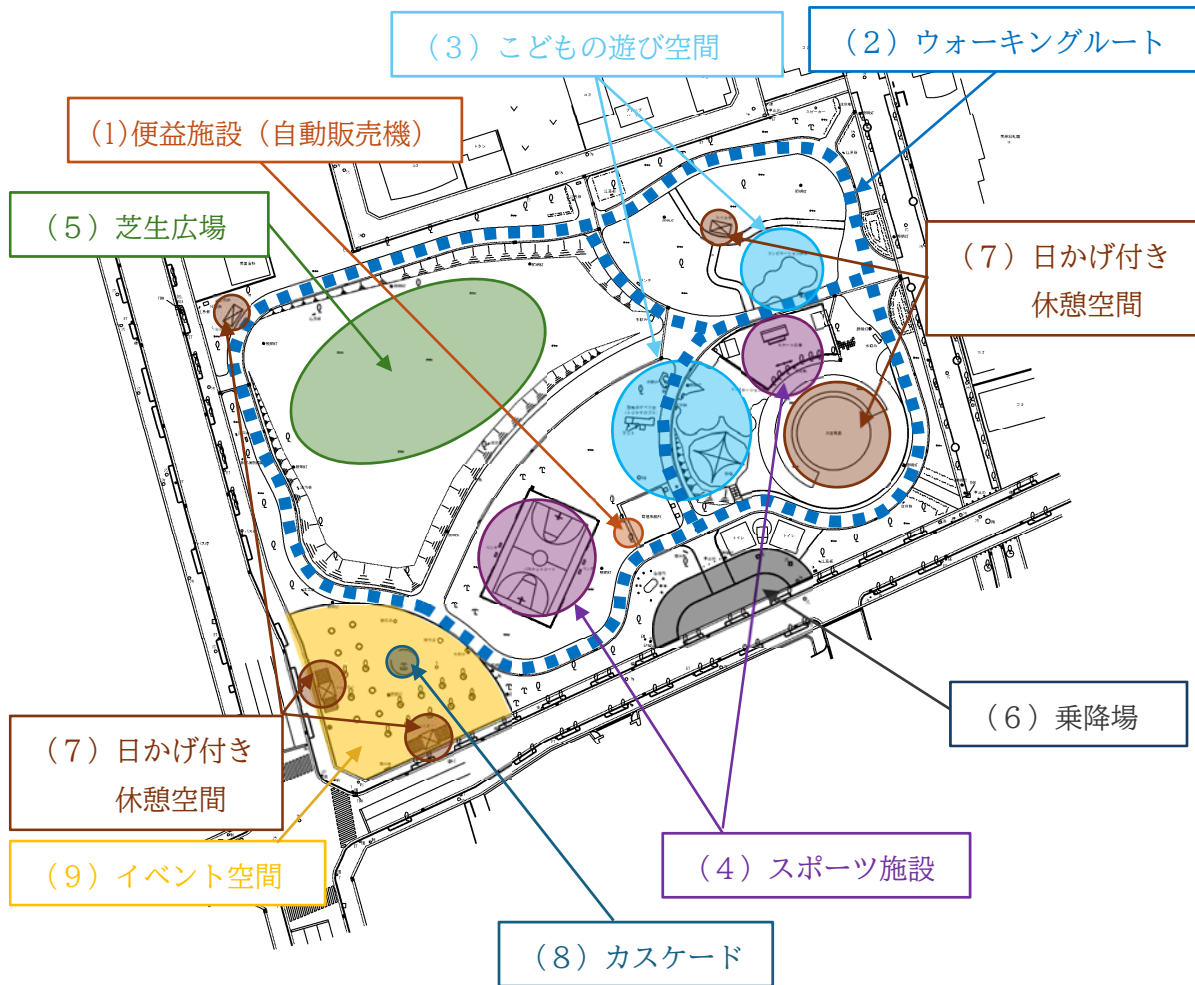
導入機能の検討においては、「第4章 基本方針（案）検討」にて整理した美里公園の整備における基本的な考え方を基に、公園全域における機能導入や機能配置についての展開を整理した。

整理した公園全域における機能導入や機能配置の展開を以下に示す。

図表 6-1 公園全域における機能導入・配置の展開

美里公園の整備における基本的な考え方	機能導入・配置の展開
【事業コンセプト（案）】 暮らしがまざり 人がつながる “美里（ンザトゥ）ゆくいなー”	・日常的に訪れ、過ごすきっかけとなる機能導入 ・滞留空間や動線の重なりを生む機能配置
1 公園利用者の滞在・休憩・交流の質を高める売店等公園機能の拡充	・公園の滞在・休憩・交流の質を高める <u>便益施設整備（売店、飲食施設等）</u> ・公園空間との一体利用を意識した魅力的な <u>便益施設導入</u> ※主に公募対象公園施設にて展開
2 ウォーキングやこどもの遊び等、現在の利用環境の向上	・日常的に利用されている <u>ウォーキングルート</u> 、 <u>こどもの遊び空間</u> 、 <u>スポーツ施設（バスケットコート、スケート広場）</u> 、 <u>芝生広場の維持・改善</u>
3 新たな公園機能の拡充や利用を支える駐車場の補完・マネジメント	・利用実態に応じた <u>駐車場の補完</u> ※主に特定公園施設にて展開
4 誰もが安心して日常的に利用できる快適な公園環境の形成	・ <u>ユニバーサルデザインへの対応</u> ・利用者が安全に過ごせる環境（ <u>駐車場</u> 、 <u>日かげ付き休憩空間</u> 、 <u>防犯対策</u> など）の整備
5 地域との関係を育み地域価値の向上に資する持続的な取組	・これまでに実施されてきた <u>イベント</u> を <u>継続して実施</u> する地域交流の場

公園全域における機能導入や機能配置の展開が考えられる主な機能について、現況の配置を下図に示すとともに、主な各機能について整理した。



図表 6-2 現況の機能配置

### (1) 便益施設（売店、飲食施設等）

現在の美里公園には、利用者アンケートでも要望が多いものの、売店や飲食施設等の便益施設は整備されておらず、飲料については、園内に自動販売機が設置されている状況である。なお、園外の施設として、南側の市道美里東西線を挟んでコンビニエンスストアが立地している。



図表 6-3 園内に設置されている自動販売機

## (2) ウォーキングルート

図表 6-2 に示す園路は、利用者アンケート調査でも良い点として挙げられたウォーキングルートとして整備されており、ゴムチップ舗装が施されている。特に外周園路は、周遊できるルートとなっており、多くの利用者に利用されている。

## (3) こどもの遊び空間

規模の大きい遊戯施設が設置されたエリアが配置されており、幼児から児童まで幅広い年齢層が遊べる空間として、利用者アンケート調査でも良い点として挙げられている。一方で、スケート広場や園路により分断されているエリアもあるため、遊び空間としてのまとまりや連続利用においては少し課題がある状況である。

## (4) スポーツ施設（バスケットコート、スケート広場）

バスケットコートとスケート広場が配置されている。若者世代が中心に利用できる施設となっているが、2つのスポーツ施設の距離が遠いことに加えて、施設の特性上フェンスに囲まれた閉鎖的な施設であるため、利用者間の交流は生じにくい配置となっている。なお、両施設とも騒音対策が必要となるため、住宅とは距離を確保した配置となっている。

## (5) 芝生広場

多様な公園利用を受け止められる広い芝生広場が配置されている。西側の市道松本団地西側線により近い位置に配置されていることで、沿道からの緑豊かな景観形成にも寄与している。

## (6) 乗降場

住区基幹公園であるため、徒歩での利用を基本としているものの、南側の市道美里東西線から車両が乗り入れられる乗降場が整備されている。また、乗降場は、事実上駐車スペースとして利用されており、満車となる機会も多くみられる。



図表 6-4 満車状態となっている乗降場

### (7) 日かげ付き休憩空間

美里公園の特徴の一つでもある大型東屋が公園南東に設置されており、公園利用者に十分な大きさの日かげを提供している。その他、公園南西の扇形広場にシェルターが2基、公園北東の芝生、芝生広場北西にもシェルターが各1基設置されているが、それぞれ公園利用者が集まる場所からは距離があるため、利用促進のために配置改善の余地がある。また、現在施錠され物置として利用されている管理事務所も室内に和室が設けられているなど日かげ付き休憩空間としてのポテンシャルを有している。

### (8) カスケード

扇形広場の中心に設置されており、沖縄の湧水を想起させる人工の滝である。現在は人工の岩に藻がついて危険なため、稼働を停止している。



図表 6-5 稼働停止しているカスケード

### (9) イベント空間

イベント（軽トラ市、ピースフルキャンドルナイト、七夕まつり）の実施場所は、扇形広場及び芝生広場が主となっており、西側の市道松本団地西側線により近い位置に配置されている。

## 2 事業区域に求められる導入機能

前項の公園全域における機能配置の整理を踏まえて、事業区域に求められる導入機能について整理した。

### (1) 新たに導入すべき機能

#### ①便益施設（売店、飲食施設等）

主に公募対象施設にて導入を想定する機能となる。美里公園の滞在・休憩・交流の質を向上させる売店や飲食店の導入が望ましく、当該施設により公園利用中の食事ができるなど長期滞在に寄与する施設となる。

#### ②駐車場

便益施設の導入可能性を上げるために、事業者要望も高い施設であり、公募対象施設又は特定公園施設としての導入を想定する。また、現在の乗降場における駐車スペースの運用は課題が多く、安全性を確保するためにも、駐車場としての一体整備が求められる。

#### ③日かげ付き休憩空間

美里公園の日かげ付き休憩空間としては、公園東側に大型東屋があるものの、芝生広場やバスケットコート等多くの利用者が集まる公園南西側においても日かげを提供する休憩空間が求められる。市道からアクセスしやすく、地域住民が気軽に使える日かげ付き休憩空間となるとともに、ウォーキング中の休憩や食事、公園で遊ぶ子供の保護者が過ごす場所として日常利用を促進する施設となる。

#### ④イベント空間

既存イベントにおいて扇形広場が果たす役割をできる限り維持できるようにイベント空間を確保することが求められる。また、ステージイベントにも対応できるようにステージ及び観覧スペースを確保できることが望ましい。

### (2) 維持すべき既存機能

#### ①ウォーキングルート

ウォーキングルートの連続性と周遊性を維持するため、事業区域内においても構造（幅員、舗装等）が統一された外周園路のつながりを確保することが求められる。

## 第2節 施設規模の検討

### (1) 便益施設

「第2章 基礎条件整理」における公園の現状整理では、美里公園で新たに整備できる建築物は、231.81m<sup>2</sup>が上限となっている。概略プランを検討する前提として、できる限り建築面積を多くとった想定として、建築面積230m<sup>2</sup>として検討を進めた。

### (2) 駐車台数の検討

事業者サウンディングにより、以下に示す通り、公募対象施設の建築面積に合わせた必要駐車台数の聞き取りを行っている。

図表 6-6 事業者サウンディング結果による必要駐車台数

建築面積と必要駐車台数	平米当たり必要駐車台数
200m <sup>2</sup> 程度の場合、40～50台程度必要	0.13～0.16台/m <sup>2</sup>
165m <sup>2</sup> 程度の場合、15-20台程度必要	0.09～0.12台/m <sup>2</sup>

本事業では、公募対象施設の建築面積を230m<sup>2</sup>としているため、20.7～36.8台の確保が望ましい。

### (3) 広場規模の検討

既存イベントの開催に使用している扇形広場内、噴水周辺のオープンスペースを確保するとともに、キャンドルナイトや七夕まつり開催時のステージの大きさとして、30m<sup>2</sup>（幅6m×奥行5m、発注者による美里自治会への確認結果より）のステージの確保とステージ前のオープンスペースの確保が望ましい。

### 第3節 配置計画の検討

#### (1) 配置の基本的な考え方

前項までの整理を踏まえ、事業区域内には主に便益施設、広場、駐車場を配置する。

駐車場については、より効率的な駐車台数の確保及び乗り入れ箇所数を限定するため、乗降場と一体的な配置を行うものとした。

便益施設は、公園との一体利用を促進するために、公園側に向けた配置を行う。また、事業区域は、公園南西のエントランスとなるため、十分なスペースの確保と横断歩道からの歩行者動線を周遊園路までつなげられるように配慮した配置を行うことが望ましい。

広場機能は、前述の通り横断歩道から周遊園路までの動線を包含するとともに、エントランス広場、便益施設の屋外テラス、イベント広場、ステージの観覧スペース、芝生広場やバスケットコート利用者の休憩スペース等、多様・多彩な利活用を受け入れるオープンスペースとして、便益施設、駐車場、芝生広場、バスケットコートの中心となる位置に配置した。

便益施設の配置と広場の中心配置により、異なる目的で公園を訪れた来園者同士の出会いや交流が生まれ、事業コンセプト（案）に掲げる「暮らしがまざり 人がつながる “美里（ンザトゥ）ゆくいなー”」の実現に大きく寄与するものとなる。

#### (2) 園路幅員の検討

既存の外周園路の幅員 4.0m を踏襲し、同幅員での園路の確保を行った。

#### (3) 駐車場計画の検討

##### ①車路幅員

駐車場の車路は、運用（相互通行又は一方通行）が確定していないため、本業務では、いずれの運用の場合でも対応できる相互通行の際に必要な車路幅員を確保した。

また、バスケットコートへの干渉へ配慮したり、園路（W=4m）を確保する必要がある等、空間の制約がある箇所がみられるため、本計画では車路幅員 5.5m とした。

#### 2.4.4 車路の幅員

##### (1) 車室に面した車路の幅員

駐車ますに車両を駐車させるための後退・転回等が行なわれる車路（以下「車室に面した車路」という）の幅員は、表-2.4.3の左欄に示す値を確保することが望ましいが、空間の制約等によりやむを得ない場合には、右欄に示す値まで縮小することができる。

表-2.4.3 車室に面した車路の幅員

[単位：m]

設計対象車両	幅員		幅員	
	歩行者用通路なし	歩行者用通路あり	歩行者用通路なし	歩行者用通路あり
軽自動車	7.0	6.5	5.5	5.5 (対面通行)
小型乗用車				5.0 (一方通行)
普通乗用車				
小型貨物車	7.5	7.0	6.5	6.0
大型貨物車およびバス	13.0	12.5	11.5	11.0

図表 6-7 車室に面した車路の幅員

出典：駐車場設計・施工指針について(平成4年6月10日 国土交通省)

#### ②駐車柵の規格

駐車柵の規格は、「駐車場設計・施工指針について(平成4年6月10日 国土交通省)」による小型自動車の駐車柵(2.3m×5m)、「人にやさしいまちづくり整備基準(沖縄市)」による駐車場(車いす使用者用駐車区画)の整備例(一般車駐車区画2.5m程度×5m以上、車いす使用者用駐車区画3.5m程度×5m以上)を踏まえ、本計画では一般車駐車柵2.5m×5m、車いす使用者用駐車柵3.5m×5mの規格とした。

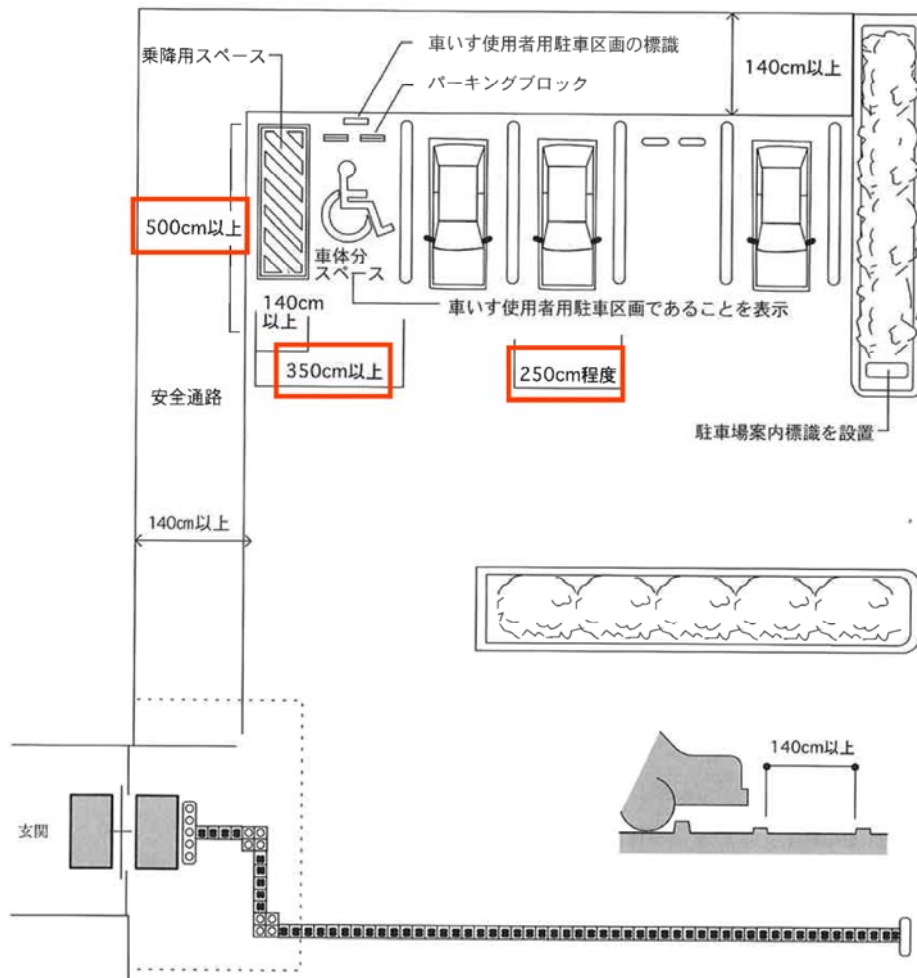
なお、「人にやさしいまちづくり整備基準(沖縄市)」に従い、車いす使用者用駐車柵は、全駐車台数の2%以上の台数を確保した。

[単位：m]

設計対象車両	長さ	幅員
軽自動車	3.6	2.0
小型乗用車	5.0	2.3
普通乗用車	6.0	2.5
小型貨物車	7.7	3.0
大型貨物車およびバス	13.0	3.3

図表 6-8 駐車柵の大きさ

出典：駐車場設計・施工指針について(平成4年6月10日 国土交通省)



図表 6-9 駐車場（車いす使用者用駐車区画）の整備例

出典：人にやさしいまちづくり整備基準（沖縄市）

## I-B 駐車場

### 整備の基本的考え方

- (1) 玄関付近（屋内駐車場においてはエレベーターのある入口付近またエレベーターのない立体駐車場においては1階部分）に車いす使用者が専用又は優先で使用できる駐車スペースを設ける。
- (2) 駐車場から建物出入口まで、だれもが安全に通行できるようにする。

### ①【設置】

- ・車いす使用者用駐車スペースを当該建物の出入口にアプローチ可能な経路で最も近い位置に設けること。
- ・全駐車台数の原則2%以上の車いす使用者用駐車スペースを設けることが望ましい。
- ・車いす使用者用駐車スペースの数は、駐車スペースの総数や車いす使用者がよく利用する施設であるか等で判断する。

### ②【駐車スペース】

- ・幅は350cm以上とする。
- ・車体分のスペースの両側に、幅140cm以上の乗降用スペースを確保する。
- ・車体分のスペース床面に障がい者のための国際シンボルマークを塗装標示し、乗降用スペース床面は、斜線で塗装標示する。
- ・床面は平坦な仕上げ（勾配1%以下）とする。

### ③【安全通路】

- ・駐車スペースより建物出入口まで、有効幅員140cm以上の車いす使用者及び歩行者に安全な通路を設ける。

### ④【屋根・ひさし】

- ・駐車スペース及び通路は、屋根又はひさしを設けること。

### ⑤【床仕上げ】

- ・床面は滑りにくく平坦な仕上げとする。

### ⑥【誘導】

- ・進入口には、車いす使用者用駐車スペースが設置されてることがわかるよう標識を設ける。
- ・見通しの悪いカーブなどの箇所には、ミラーを設ける。
- ・進入口から車いす使用者用駐車スペースに至るまで、誘導用の標識を設けることが望ましい。

図表 6-10 車いす使用者用駐車区画の設置台数の考え方

出典：人にやさしいまちづくり整備基準（沖縄市）

### ③乗入れの位置

国土交通省（旧建設省）による「承認工事審査基準（案）（平成6年9月30日建設省）」による車両出入り口の承認基準により、横断歩道の中及び前後5m以内の部分は、車両出入り口として承認されないため、本計画においても横断歩道より5m以上の離隔を確保して駐車場の乗入れ口を設けた。

また、発注者により道路管理者（沖縄市道路課）と道路法第24条の乗入れ申請に関する協議を実施し、以下の回答を得た。

- ・ 乗り入れ箇所は市道美里東西線から問題ない  
（横断歩道より5m離隔、右折レーンゼブラ帯を通行しての乗入れにて確認）
- ・ 乗り入れは2箇所とする

なお、県警本部交通規制課へ交差点付近の乗入れについての意見照会についての確認も行ったが、道路改築を伴うものではないため意見照会は不要との回答を得た。

## 第4節 配置計画図の作成

ここまでの整理を踏まえて作成した配置計画図（A案）に加えて、事業者要望が大きい駐車台数をより多く確保した配置計画図（B案）を作成した。



2案による比較を行った結果、B案ではエントランス機能の確保が困難となるため、A案を本事業への適性の高い配置計画図として選定した。

次頁以降に2案の配置計画比較表とともに、2案それぞれ配置計画図、基本方針（案）反映の考え方を示す配置計画説明図、現況と配置計画の位置関係を示す現況重ね図、駐車場の乗入れ軌跡を確認した配置計画図（軌跡入り）を添付する。

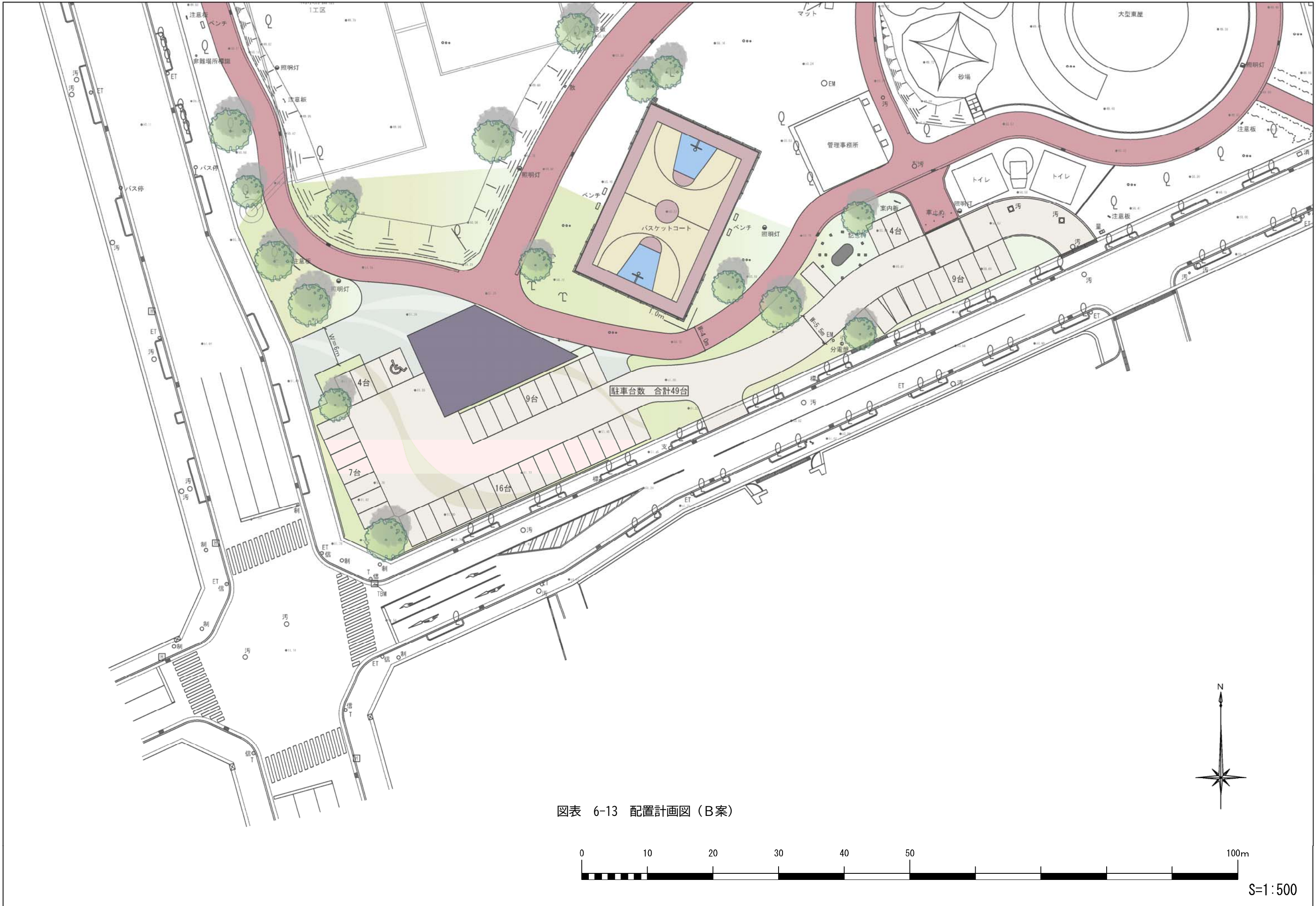
なお、カスケードを存置する際は、扇形広場内の貯水槽も合わせて存置する必要があるが、当該貯水槽の構造（耐荷重等）に関わる資料（構造計算書等）は確認できなかった。前述のA案では、車両等の荷重影響が貯水槽に影響を与えないことを前提にしているが、車両の積載や造成高の調整が難しかった場合を考慮し、ここでは、貯水槽周辺へ舗装を除く施設整備を行わないA'案も合わせて作成し、参考に添付する（A'案の駐車台数は、29台となり、収益施設側14台、既設乗降場側15台となる。



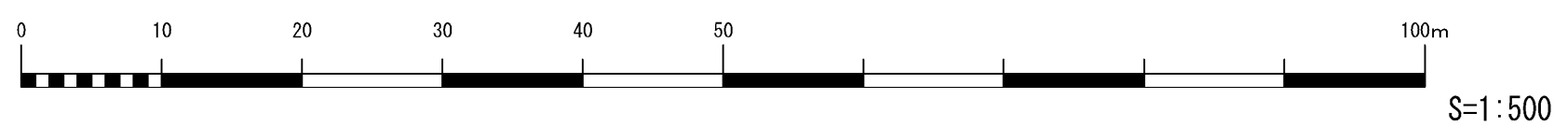
表 6-11 配置計画比較表

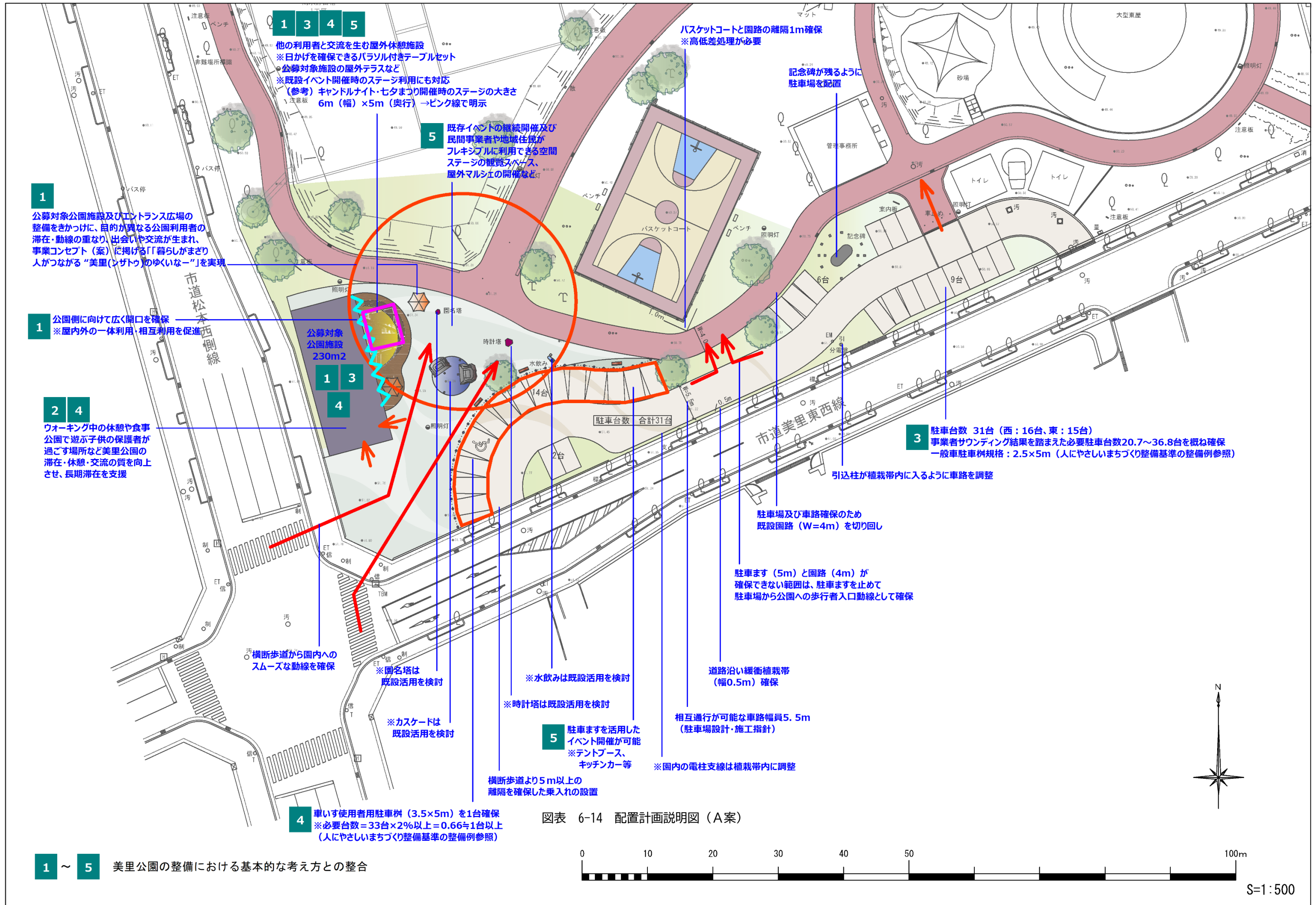
評価項目	A案（事業コンセプト（案）を踏襲して地域や公園が抱える課題に広く応える案）	B案（駐車台数をより多く確保して民間事業者の参画可能性を高める案）
配置計画図		
主な導入機能	収益施設（公募対象公園施設）230m <sup>2</sup> 、駐車場（収益施設側）16台（既設乗降場側）15台 日かげ付き休憩空間（仮設タープ、パラソル）、イベント空間（広場、ステージ、駐車桟）、 ウォーキングルート（一部付替あり）	収益施設（公募対象公園施設）230m <sup>2</sup> 、駐車場（収益施設側）36台（既設乗降場側）13台 イベント空間（駐車場）、ウォーキングルート（一部付替あり）
【事業コンセプト（案）】 暮らしがまざり 人がつながる “美里（ンザトゥ）ゆくいなー”		
1 公園利用者の滞在・休憩・交流の質を高める売店等公園機能の拡充	・売店・飲食等のサービス提供が可能な収益施設の導入 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>	・売店・飲食等のサービス提供が可能な収益施設の導入 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>
2 ウォーキングやこどもの遊び等、現在の利用環境の向上	・ウォーキング中の休憩や食事、公園で遊ぶ子供の保護者が過ごす場所などを確保 ・既設カスケードをクールスポットとして活用できる（暑熱対策） <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>	・ウォーキング中の休憩や食事、公園で遊ぶ子供の保護者が過ごす場所などを確保 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">B</span>      <span style="font-size: 1.2em;">3</span> </div>
3 新たな公園機能の拡充や利用を支える駐車場の補完・マネジメント	・収益施設側の16台と既設乗降場側の15台を合わせる（計31台）ことで、サウンディング結果にある必要駐車台数（20.7～36.8台）を確保できる。 ・駐車場は収益施設利用者と公園利用者の兼用とする。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">B</span>      <span style="font-size: 1.2em;">3</span> </div>	・収益施設側の駐車場（36台）だけでサウンディング結果による必要駐車台数（20.7～36.8台）を確保できる。 ・収益施設利用者と公園利用者の駐車場を分けることができる。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>
4 誰もが安心して日常的に利用できる快適な公園環境の形成	・エントランス広場内に日常的に利用できる日かげ・休憩所の確保が可能 ・横断歩道から園路へのスムーズな動線を確保できる <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>	・駐車台数は増えるが、近隣住民が集い、憩い、交流が促進される空間（エントランス）の創出には寄与しない。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">C</span>      <span style="font-size: 1.2em;">1</span> </div>
5 地域との関係を育み地域価値の向上に資する持続的な取組	・エントランスを利用して、地域のまつり（キャンドルナイト、七夕まつり、軽トラ市など）を継続できる。 ・収益施設のオープンテラスは、ステージイベントとしても利用できる（可変的活用）。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">A</span>      <span style="font-size: 1.2em;">5</span> </div>	・駐車スペースを利用して、地域のまつり（キャンドルナイト、七夕、軽トラ市など）を継続できる。 ・ステージイベントは仮設で対応する。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">B</span>      <span style="font-size: 1.2em;">3</span> </div>
評価	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <span style="font-size: 1.2em;">23点（推奨案）</span> </div>	<span style="font-size: 1.2em;">17点</span>





図表 6-13 配置計画図 (B案)





**1**  
 公募対象公園施設及びエントランス広場の整備をきかっけに、目的が異なる公園利用者の滞在・動線の重なり、出会いや交流が生まれ、事業コンセプト（案）に掲げる「暮らしがまがり人がつながる“美里（ミザトウ）のゆくいなー”」を実現

**1**  
 公園側に向けて広く開口を確保  
 ※屋内外の一体利用・相互利用を促進

**2 4**  
 ウォーキング中の休憩や食事公園で遊ぶ子供の保護者が過ごす場所など美里公園の滞在・休憩・交流の質を向上させ、長期滞在を支援

**1 3 4 5**  
 他の利用者と交流を生む屋外休憩施設  
 ※日かげを確保できるパラソル付きテーブルセット  
 ※公募対象施設の屋外テラスなど  
 ※既設イベント開催時のステージ利用にも対応  
 （参考）キャンドルナイト・七夕まつり開催時のステージの大きさ  
 6m（幅）×5m（奥行）→ピンク線で明示

**5**  
 既存イベントの継続開催及び民間事業者や地域住民がフレキシブルに利用できる空間  
 ステージの観覧スペース、屋外マルシェの開催など

公募対象公園施設  
 230m<sup>2</sup>

横断歩道から園内へのスムーズな動線を確保

※園名塔は既設活用を検討

※カスケードは既設活用を検討

**4**  
 車いす使用者用駐車樹（3.5×5m）を1台確保  
 ※必要台数=33台×2%以上=0.66≒1台以上  
 （人にやさしいまちづくり整備基準の整備例参照）

横断歩道より5m以上の  
 隔離を確保した乗入れの設置

**5**  
 駐車ますを活用したイベント開催が可能  
 ※テントブース、キッチンカー等

※園内の電柱支線は植栽帯内に調整

バスケットコートと園路の隔離1m確保  
 ※高低差処理が必要

記念碑が残るように  
 駐車場を配置

**3**  
 駐車台数 31台（西：16台、東：15台）  
 事業者サウンディング結果を踏まえた必要駐車台数20.7~36.8台を概ね確保  
 一般車駐車規格：2.5×5m（人にやさしいまちづくり整備基準の整備例参照）

引込柱が植栽帯内に入るように車路を調整

駐車場及び車路確保のため  
 既設園路（W=4m）を切り回し

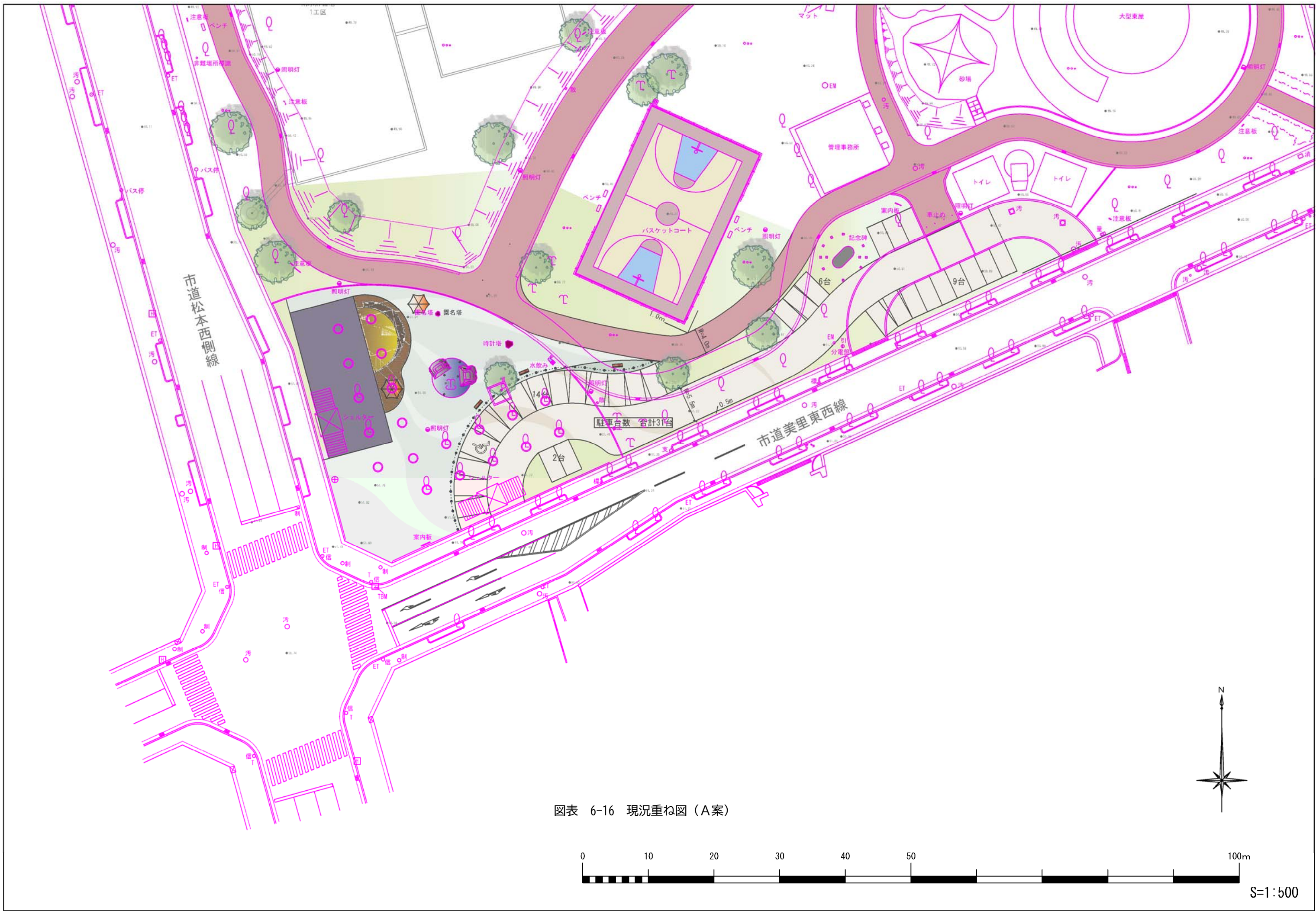
駐車ます（5m）と園路（4m）が確保できない範囲は、駐車ますを止めて  
 駐車場から公園への歩行者入口動線として確保

道路沿い緩衝植栽帯（幅0.5m）確保

相互通行が可能な車路幅員5.5m  
 （駐車場設計・施工指針）

図表 6-14 配置計画説明図（A案）

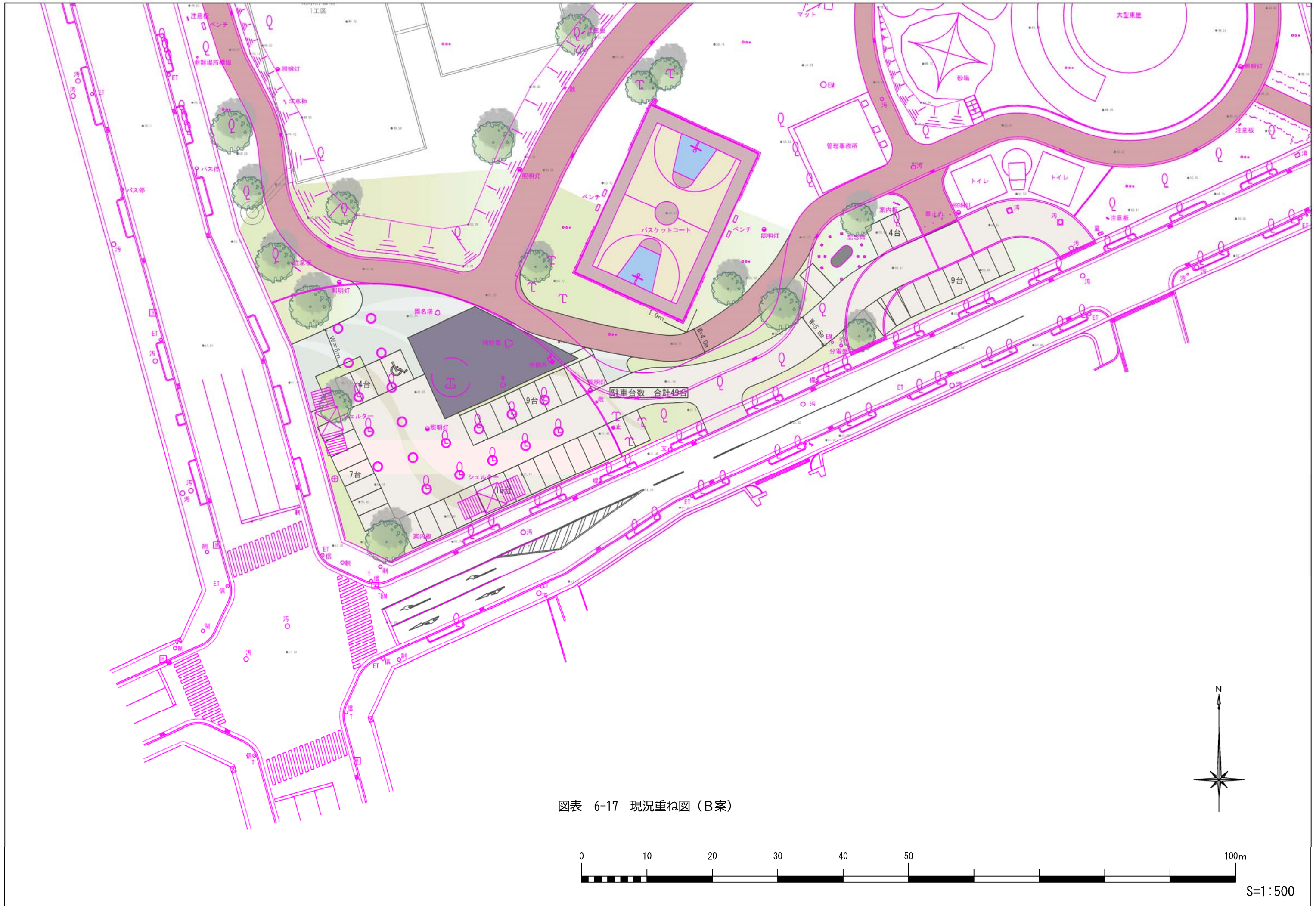




図表 6-16 現況重ね図 (A案)



S=1:500

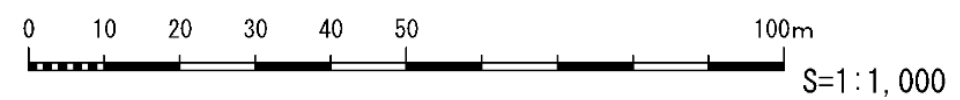


図表 6-17 現況重ね図 (B案)

S=1:500



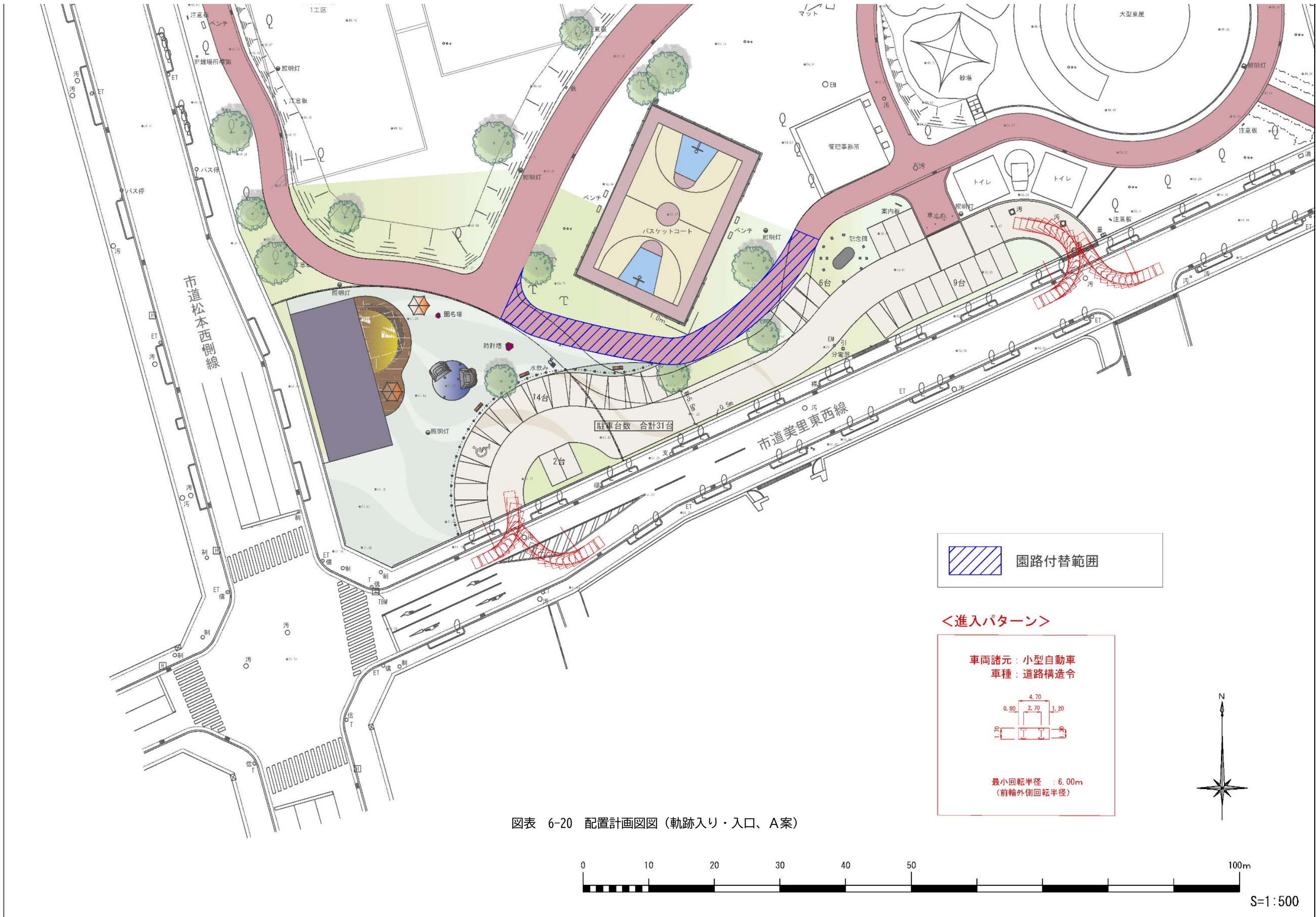
図表 6-18 公園全体図 (A案)



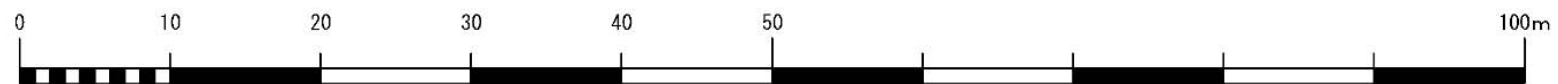


図表 6-19 公園全体図 (B案)

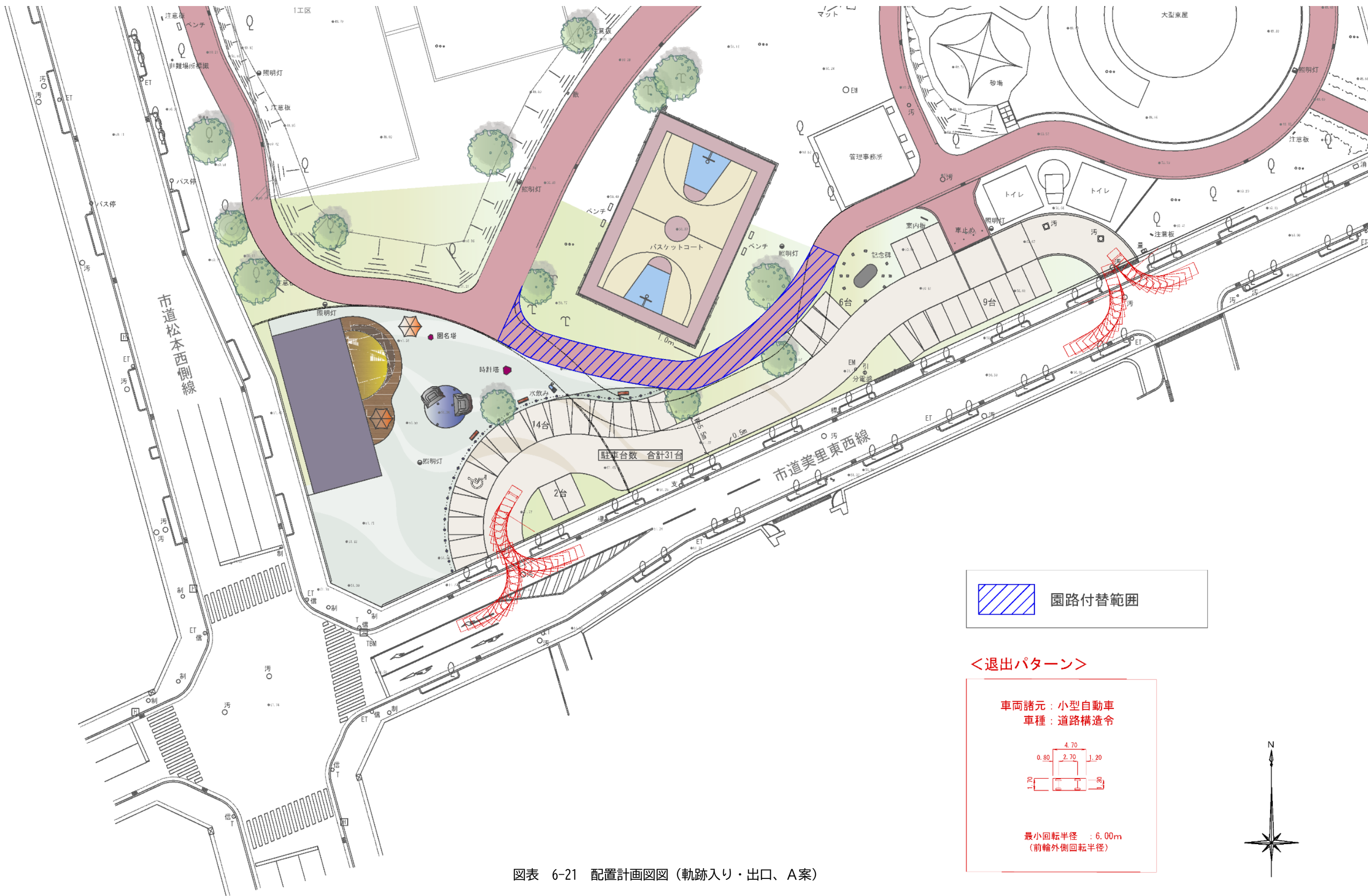


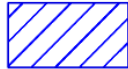


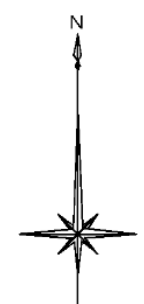
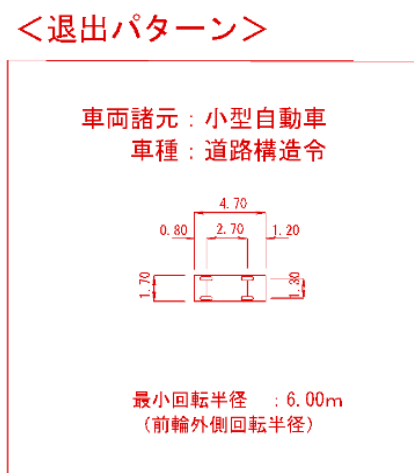
図表 6-20 配置計画図(軌跡入り・入口、A案)



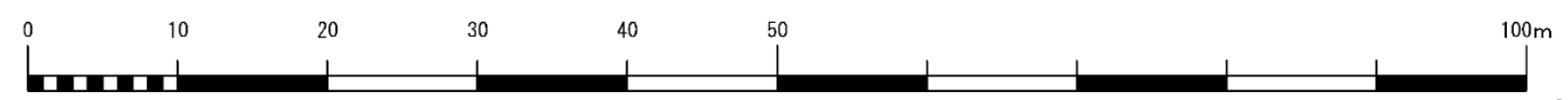
S=1:500



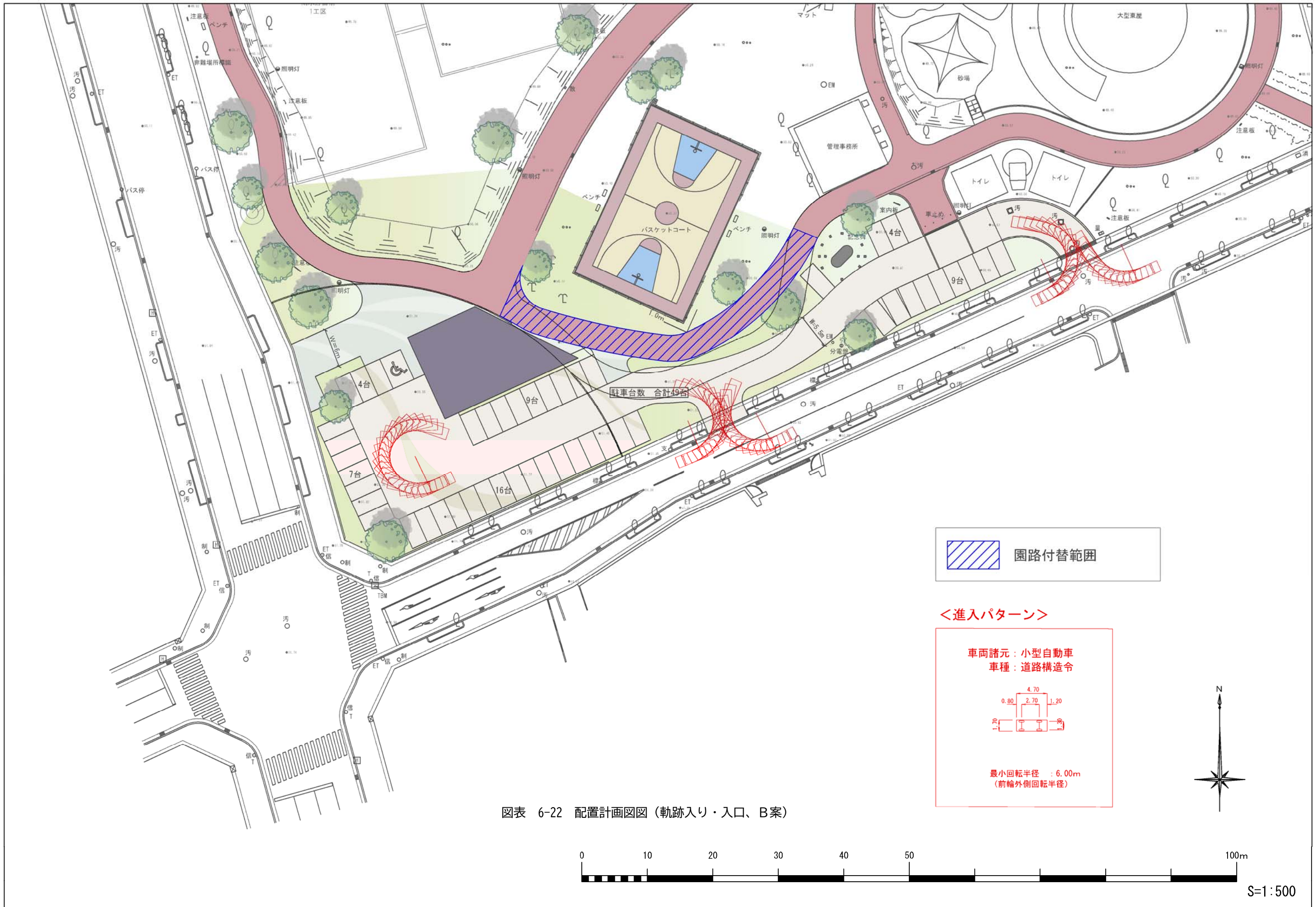
 園路付替範囲



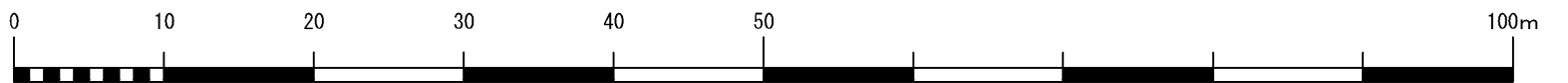
図表 6-21 配置計画図(軌跡入り・出口、A案)



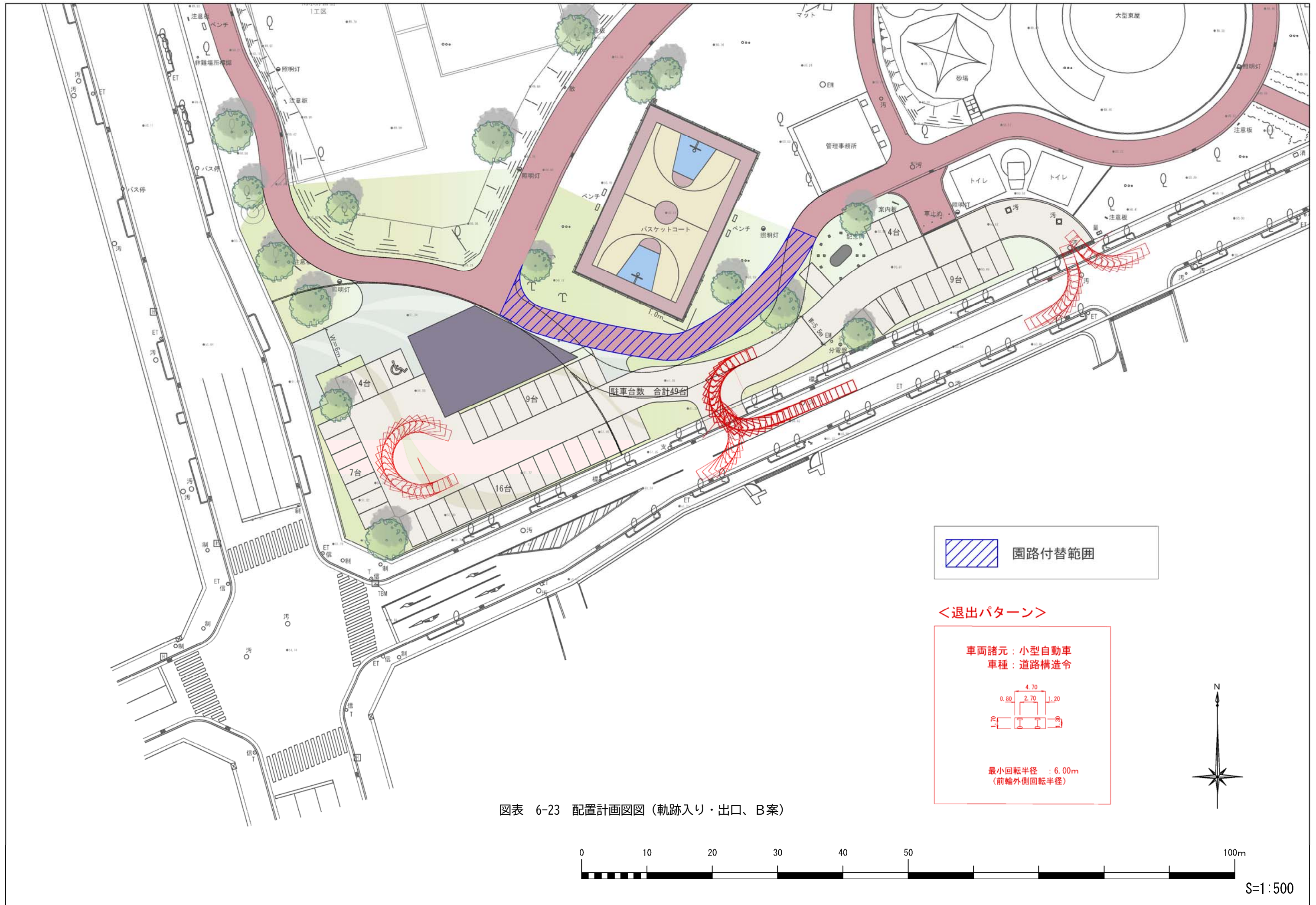
S=1:500



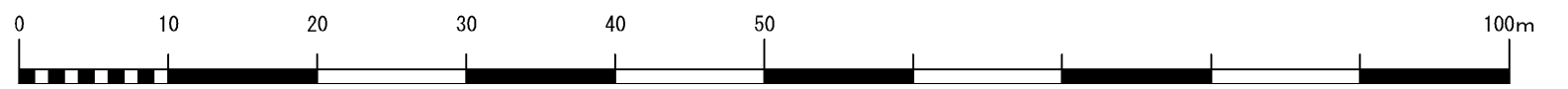
図表 6-22 配置計画図(軌跡入り・入口、B案)



S=1:500



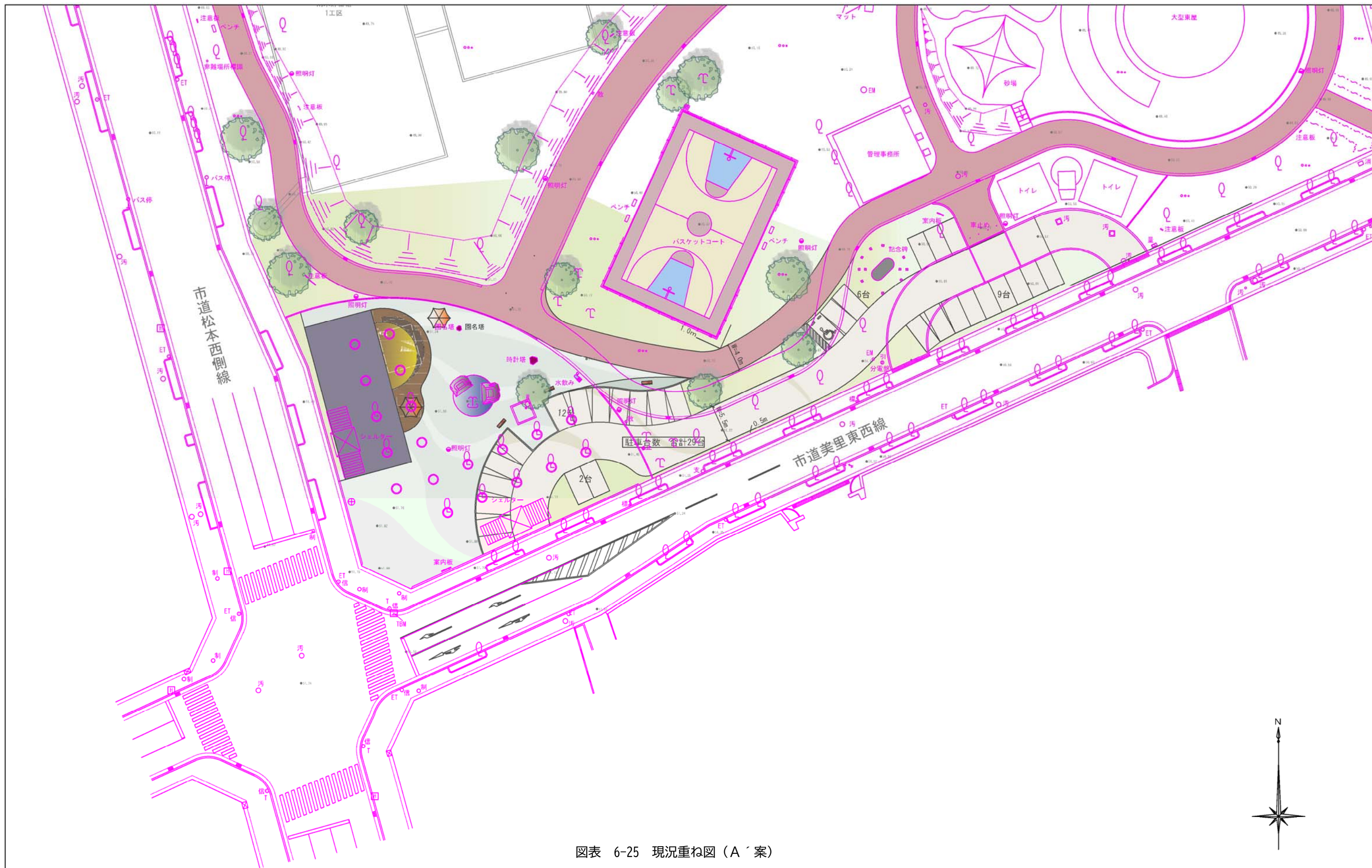
図表 6-23 配置計画図 (軌跡入り・出口、B案)



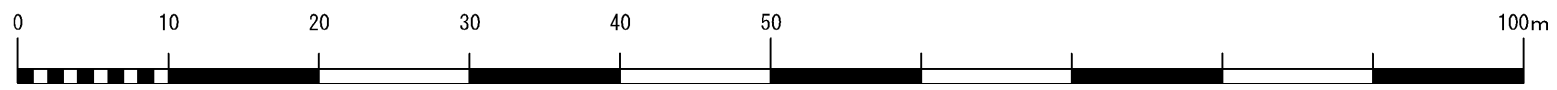
S=1:500



図表 6-24 配置計画図 (A' 案)



図表 6-25 現況重ね図 (A'案)



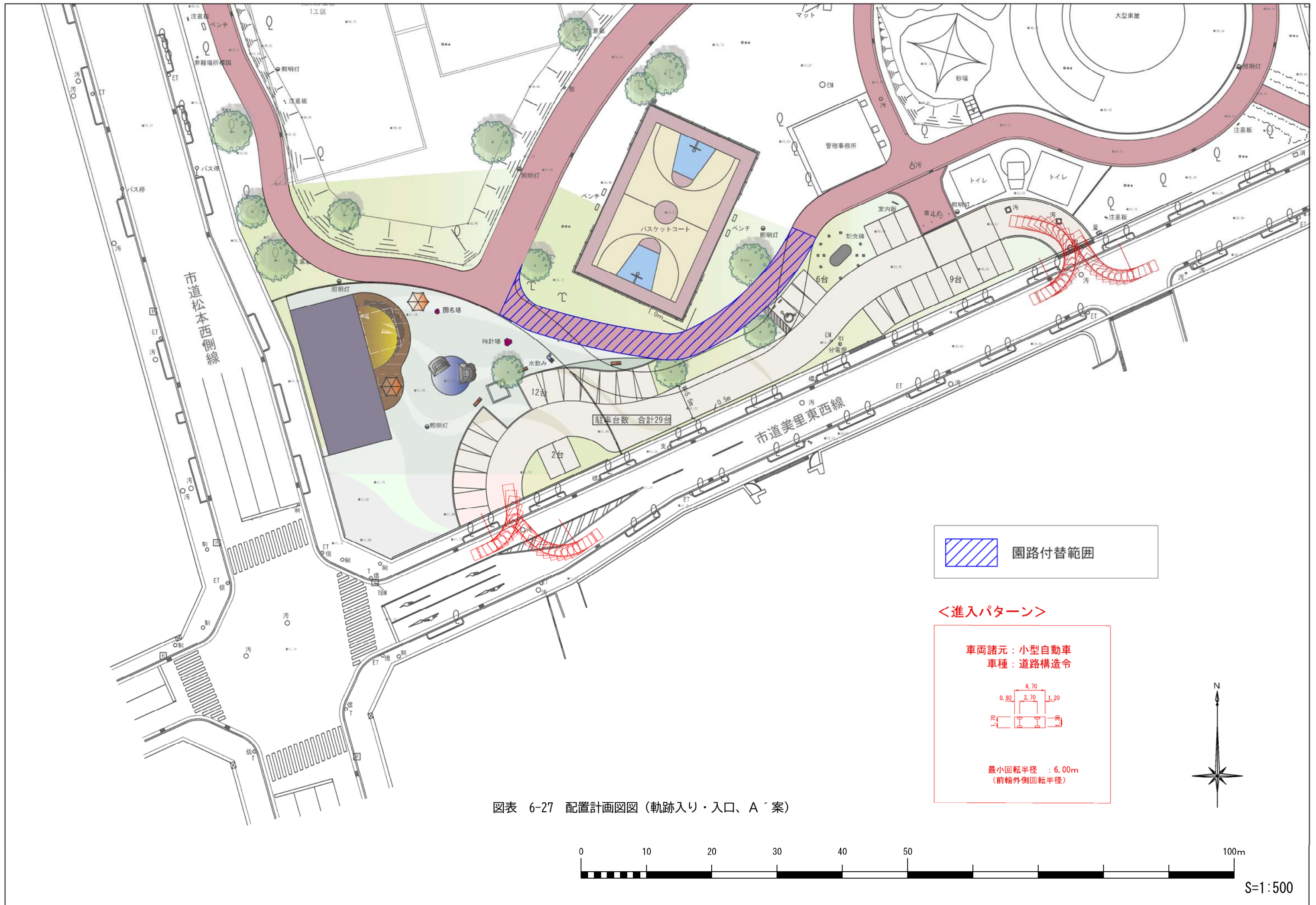
S=1:500

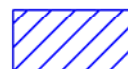




図表 6-26 公園全体図 (A' 案)

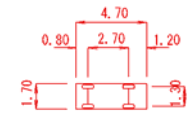




 園路付替範囲

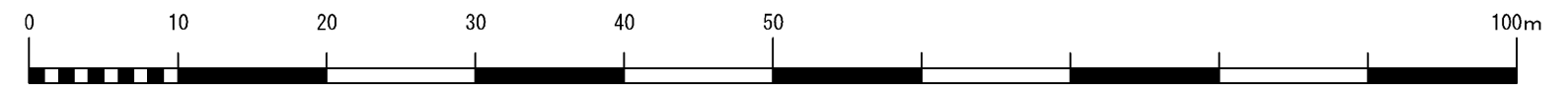
**<進入パターン>**

車両諸元：小型自動車  
 車種：道路構造令



最小回転半径：6.00m  
 (前輪外側回転半径)

図表 6-27 配置計画図(軌跡入り・入口、A'案)



S=1:500

